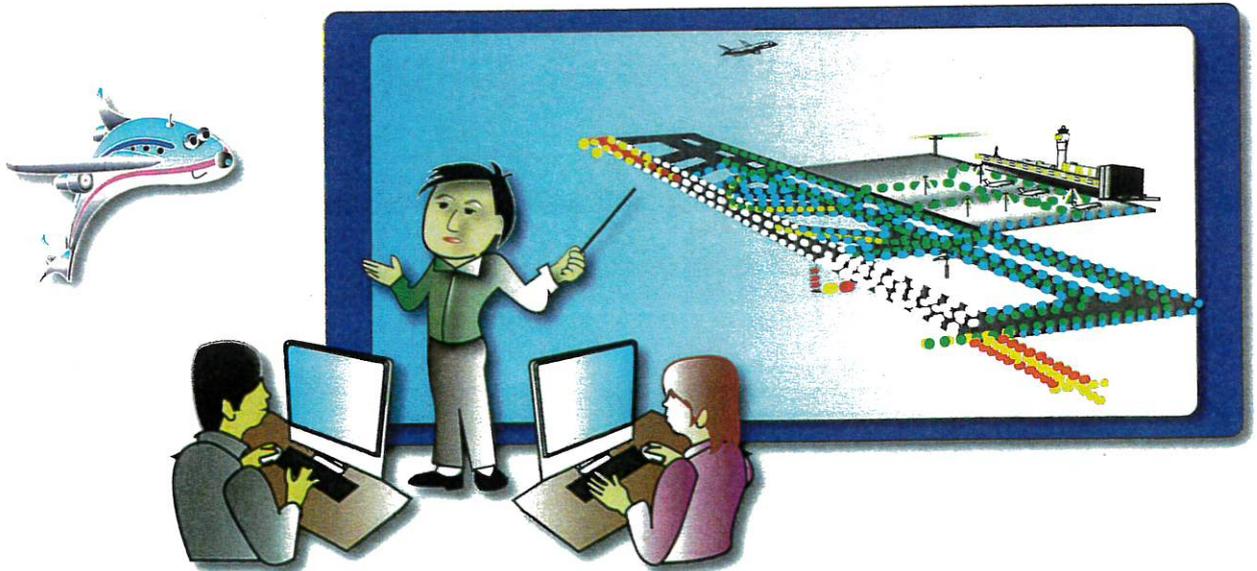


エアサイド・オペレーション トレーニングコース

- 空港は、航空交通ネットワークの拠点として人やモノが行き交う公共交通の要所として、航空の安全のみならず定時性を確保していく重要な責務（役割）を担っています。
- それには日常の空港オペレーションを確実にを行い、かつ空港オペレーションに起因するリスクが運航に影響を及ぼさないよう日頃からリスクを最小限に抑える活動も必要です。
- 更に万が一、航空事故等のイレギュラー事案が発生した場合は、搭乗客や空港関係者に対する避難措置を講ずる他、その後の速やかな運航再開を図らなければなりません。また、地震や津波など自然災害が発生した場合は、地域の防災計画等により救助活動や支援物資の輸送拠点としての役割を担うことも求められます。
- 航空保安研究センターは、このような日常的なオペレーションは元より、まさかの場合の対応力を身につけられるよう、エアサイド・オペレーションに必要な知識と経験を習得するためのトレーニングコースを用意しています。



トレーニングの手法

☆ご希望に応じたコースづくりをいたします。お気軽にご相談ください。

1

基本的な知識を習得するコース

- ✓ 座学またはCBT(eラーニング) で学んでいくコースです。
- ✓ 出前講座のご用命も受けられます。
- ✓ エアサイド・オペレーションを担う者として知っておくべきこと、知らなければならないことを学んでいくコースです。

2

実務能力を養うコース

- ✓ VRシミュレーターを使用して実習していくコースです。
- ✓ 出前実習のご用命も受けられます。
- ✓ 滑走路などエアサイドの日常的な点検作業は元より、レギュラー事案発生時の対処方法を実習し、オペレーションを担う者として知っておくべきこと、知らなければならないことを学んでいくコースです。
- ✓ 様々な事例に精通したインストラクターが受講生の習熟度に添ってトレーニングを進めます。



(VRシミュレーターの画面例)

トレーニングコースのフロー

航空一般 (座学、CBT)

- エアサイド・オペレーションのトレーニングの第1ステップ
- エアサイド・オペレーションを担う者として身につけるべき、基本中の基本を学んでいく

エアサイド・オペレーション 基礎及び専門(座学、CBT、VR実習)

- エアサイド・オペレーションを担う者として必要な知識を基礎編と専門編の2段階で学んでいく
- 例えば、空港施設、制限表面、制限区域、空港供用規定などを実務に役立つよう学んでいく

エアサイド・オペレーション実習 (座学、CBT、VR実習)

- VRシミュレーターを使用した実習コース
- エアサイド・オペレーションを担う者として必須な実務能力を身につけていく
- 場面点検の仕方から始まり、セキュリティ事案、航空事故処理、自然災害対応などの事案対応能力を養っていく

航空一般コース（座学、CBT）

- ✦ 航空に関する一般的知識
- ✦ 航空交通業務、航空保安施設、管制システム等
- ✦ 航空機・航空機運航
- ✦ 緊急事案
- ✦ 航空関連規則
- ✦ 航空情報・航空気象

エアサイド・オペレーション基礎コース（座学、CBT）

- ✦ 空港施設・制限表面・制限区域
- ✦ 空港証明・空港保安全管理規程
- ✦ 空港供用規程
- ✦ 空港使用料等
- ✦ 協議会・関係機関

エアサイド・オペレーション専門コース（座学、CBT、VR実習）

- ✦ 制限区域への立入・工事等作業の安全確保・車両運転の取扱
- ✦ 制限区域等の安全点検と運航制限
- ✦ エプロン運用と安全確保
- ✦ 野生動物と航空機との衝突防止
- ✦ 障害物管理、航行不能航空機の撤去
- ✦ 低視程時の安全確保、ILS制限区域の管理
- ✦ 雪氷対策
- ✦ 空港緊急時対応計画、安全管理システム

エアサイド・オペレーション実習コース（座学、CBT、VR実習）

- ✦ 航空機運航：空港及びその周辺における事案・緊急事案機の受入等
- ✦ セキュリティ事案：運航への影響・利用者の安全確保
- ✦ 制限区域内での事故・空港施設関連事案
- ✦ 航空保安施設・システム等関連事案
- ✦ 自然災害
- ✦ その他事案

エアサイド・オペレーションのトレーニングの問い合わせ先
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-18 フジビル6F
一般財団法人 航空保安研究センター
Mail To: airside-training@atsri.or.jp